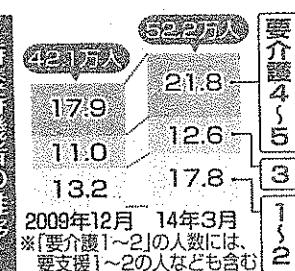


3/26 福井

厚生労働省 待機者数 52万人

09年より10万人増

厚労省集計



急速な高齢化の進行で、自
治体が特養を整備するペース
を入所希望が上回り待機者が
増加した。

厚生労働省は25日、特別養
護老人ホーム（特養）への入
所を希望している待機者が、
今年3月の全国集計で約52
万2千人になると発表し
た。2009年12月の前回集

計の約42万1千人より約10
万人増えた。食事や排せつに
介助が必要な要介護3～5の
中重度者は約34万4千人で、
待機者全体の3分の2を占め

た。政府は施設入所から在宅介
護への移行を促しているが、
厚生労働省は25日、特別養

在宅介護の体制充実が急務と
言えそうだ。

厚労省は、都道府県に昨年
10月1日時点の待機者数の
報告を求めた。14府県は独自
の基準で集計。一部で重複や
未集計、調査時点のずれが
ある。本県の待機者は372
人だった。

全国の待機者のうち、要介
護4～5の重度者は約21万8
千人。うち在宅の人は4割近
い約8万6千人で、家族の介
護負担も重いため、厚労省は
「迅速な対応が必要」とした。

要介護3は約12万6千人。
比較的軽度の要介護1～2
や要支援1～2の人などで
入所を希望しているのは約
17万8千人だった。政府は15
年度から特養入所を原則、要
介護3以上に限定する方針。

今国会に「地域医療・介護総
合確保推進法案」を提出して
おり、成立すれば、これらの
人はやむを得ない場合を除
いて入所でぎくなる見通し
だ。

厚労省は待機者について
「自宅で暮らしたいが自信が
なく、入所を望む人が多い」
と分析。「なかなか入所でき
ないから、要介護度が低い段
階で申し込む人もいる」と指
摘している。

病院や有床診療所（約6万2
千人）、グループホーム（約
2万人）が多かった。

特養は入浴や食事などの世
話を受けられ、終身利用でき
る。有料老人ホームなどより
低料金のため入所希望者が多
い。

い。